

沈黙の月

「寺越事件」忘れられた母子

HAB北陸朝日放送ドキュメンタリー「沈黙の月」 第27回ものづくりネットワーク大賞 最優秀賞を受賞！

HAB北陸朝日放送（本社：石川県金沢市）が制作した「HAB報道特別番組 沈黙の月 『寺越事件』忘れられた母子」が第27回ものづくりネットワーク大賞の最優秀賞を受賞しました。HABの入賞は第22回以来5年ぶり6回目、最優秀賞は第20回以来7年ぶり3回目です。

受賞番組

「HAB報道特別番組
沈黙の月『寺越事件』忘れられた母子」

スタッフ

ディレクター 中島佳昭／編集 牧田邦和／
カメラ 前田国憲／プロデューサー 黒崎正己

番組内容

1963年5月、石川県志賀町の沖合で当時13歳だった寺越武志さんが叔父2人と漁に出たまま行方不明となり、24年後に北朝鮮で生存が判明した「寺越事件」。武志さんの母・友枝さんの取材を16年間続けた記者の目線で、世間から忘れ去られようとしている「寺越事件」を伝えた。

ものづくりネットワーク大賞

若手制作者の育成と制作力向上を目指し東京・大阪・名古屋・北海道・福岡を除くテレビ朝日系列19社の作品を対象にアイデアや独自性、構成力などを審査し優れた番組を表彰している。

審査講評

長期取材によって得た厚みのある映像と共に、記録して伝えていくことの意義と、この事件を風化させないという意味を強く感じる番組だった。



制作者 中島佳昭のコメント

先輩の記者がつかないできた映像の蓄積、系列局の制作者の支えがあったからこそ受賞することができました。寺越友枝さんは今年2月に92歳で亡くなりました。母と息子が歩んだ60年の記録と記憶を1人でも多くの方に知ってほしいと思います